源氏小鏡

二

源氏目録

十　みをつくし　せきや　あふさか

十一　絵合

十二　松風

十三　うすもの雲

十四　あさがほ

十五　少女

十六　玉鬘　初音　胡蝶　螢　常夏　篝火　野わき　行幸　藤袴　まきばしら

尊経閣文庫

十八 梅うめ
十九 桜のうゑ物
二十 若菜 上下

土みをはくし
此巻はんをつゝとゝのへ事は
数かゝてなふはのうゑもかひなしと
なふ此をつゝしゝ思ひそめうゑん
氏欲ゆゑなりきん〻は〻へめうゑさせて後のゝ
侍らんゝ位をあゝ為まりかの玉鬘大納言
なり内大臣うけ給へ侍らんゝに須
磨かゝうゑなるをちかゝまうゑ物乃ゆゑのさと
とさ為ゝ出みらん神の山ちのひとゝえ志らく紅
のゝちすみらゝ為まを給へ物をのたまへ侍
うゑをはゝ物をゝふ物をゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

うへてるそ　花のあるもあれやそふ
さくらかあめて咲いるうくいせ
大うの雪ふはのうされてあや梅のくれさるれみ
ふれるちるさてあきはさるをはつるを山
うわるあもく伊てはるれの浅うん岩や角ゑ
かのこうちよみく咲みうれきるをうわきふ家
きくのをな猫於ふ与後うひてうへるふ
あをそてぬとはるれふ
伊てはてはるやはてんあれ人乃
うるうるの雪のかきねを
かるあ雪新つうや侍りて行梅のかふ行あれ

たかをさ源氏
家あるたくをすてるやを人をなし
なふうう雪れ尋きてしん
人をれむしれまと尋かあ石山より伊て
於ふはむふさあきてを系ふ志のしむもて乃は
心しるのこ君をりて はみりをるさ
関屋　志水　ゆきたうへら
清なるぬ海　せれとあかてさ波
そのぬりれるはるうこれ世とりあを乃伊山
きれひうるに対て
わるをにはあみら世ふ

なげうちのやうにおぼえ
ぬるを
はるゝくやせぬそのうぐいすのこゑや
きゝあへしこゑにとゝまらんうらむ
うんしはいりおくうつせみい数(入)のれてゆくとゝ
ろ心なうまていとはうの〳〵のそこあれいあさこゝ山
のうちに住へし

蓮生こゝろつくしのうひ

此者ゝときてゝいへ事いわむ〳〵さるの巻めのこ
すゑつむをのそふんこゝろ見るゝはるあ元
女房ゝなりしはゝ元ちるあるゆもすの数し
まんしたゝれゝこゝ志ゝ世俗人ゝとゝ仮

ニの角ひのかうかは於ものかすへさを俗ゝ
されゝあもちこゝやのゆあゝ親ゝそゝゆゝとゝ
こゝひうゝゝるかすかはすゝひかゝ山み
行しとすゝこうゝ花ちるゝ行の
かゝ人方ゝうゝかゝ
ゝのもきむゝちゝのかさみゝ
ゝたちのこゝやゝゆゝものゝ
こゝわけ入のふしきゝに
さゝかゝゝゆゝこゝの人ゝ
こゝちゝひゝゝ入行人
御車ちゝはゝゝこゝゝ

[illegible]
わ[illegible]ぬ[illegible]く今[illegible]
みをつくしてそ[illegible]
やいの[illegible]
[illegible]
すると[illegible]車の[illegible]
きん〜

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

さて[illegible]
[illegible]
[illegible]

十二　終合

[illegible]

[illegible]

みとの十に行[illegible]

しらく[illegible]

[illegible]院[illegible]

の二月ふ[illegible]

[illegible]

[illegible]

梅つぼをたちとわらはをあそばせてみるに俗
なりせいまやくそんの初ひらきに出度よそひく
間の出こうをなすに如何ぞこの出でいんなる
如房と云へつおそれおそれにたちそなく
さらつつ無沢の出あうんつのれ出るなるよ
ムちつこを伝えみしに初つかるれをきん
の出こうよりはつあるに二の恵成こうるあされこう
よまるまりひこうの俗すさて恵あるるの形況
ケたつに二の絵をすれおこうに伝しこと記者
こうるに出つまるあまりの多くのこうに

市我山のたつまこうに伝公の出こうと記すあ
絵こうあるおの出のこうあるとうきのこいいてうあこう
なこんあるこんかあるあまこと心こてなさを絵こ
出出こうこの物のこうたまりに初て絵へのこうく
ろうの絵ひこうもこうこの記のこうこうみをこて
のこうこの出こうこうこうこ

十二 松風

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十日　[illegible]

[illegible]

入日さすみねのたなびくうを雲の

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十五 樓

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

わしかやのとよくゝ志ゝ弟へて分へしけるとに
まゝとのうゝめて寄ゝして秋このむ御の清うる
そのゝつをるまふあのゝ志ゝれをこゝにあり家さるかの御
の出てさまる紅葉と花のふゝふへてうへゝ羅をあして
すてつゆきようすると出てひゝもゝ紅のうへ乃出
うの玄乃出かゝへ出ゝたり

秋の夕べ

ゝけるまゝ月ゝ面の
ゝみゝ成れの つゝ花ゝたゝよ
やまゝ出てゝてうゝ出ゝうゝ出ゝ弟の御ゝふゝん
いゝるものゝゝうゝへ出ゝて御乃花
紫の花

花ゝ成ゝ出ゝ弟ゝ玄ゝ成

いゝねのまつふゝけゝてみゝん
とゝゝ御ゝあゝへゝ玄ゝ沢の玄ゝゝ紅のゝゝれゝる
ゝゝかの御ゝ清の秋乃出ゝてゝゝその紅葉の出ゝるゝ
出ゝゝ玄ゝ秋といゝねのゝ月ゝ玄ゝゝゝて玄年乃
ゝゝゝゝゝて出つゝひゝ

花ゝの御ゝゝゝゝゝゝ

秋ゝつゝゝゝゝゝゝゝゝ

とゝの玄ゝゝゝゝゝゝゝゝ

なるべきものこそあんばしんと云てい

十七　玉鬘

此君玉鬘こいとなき筆為の業に物うとせ給て
のちこそ物ちきのうへ人乃内かけて玉鬘乃姫君乃ほと
ゝすの為まのりと去遍いせて給ひあひ侍氏の
おとゝにたゞしうへむと物ゝとりて云給ひうつを
給へとも物ゝ所乃のうへいうまとの内乃物まとうとし
くまみ給ひしかるを
あひわるを方ゝそれる事て玉ひ
いうるとゝ代たつるきうゝ母
とまゝ給ひ毎ゝ物ゝとゝよい夕ゝ乃のうへ

は物ゝ物ゝ事ゝ物ゝ年ゝ物ゝ物ゝ物ゝ物ゝ
人物ゝ人ゝ物ゝ人ゝ物ゝ物ゝ物ゝ物ゝ物ゝ
ゝ物ゝ物ゝ物ゝ物ゝ物ゝ物ゝ物ゝ物ゝ物ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

なにはやうらうらうら

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

人のきりてふ消ゆる物

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ひとえにきとかるもの[illegible]

[illegible]

[illegible]

雙　雙　おなじものなしい

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

わすれてまたすてきめきて
[illegible]
[illegible]
あき[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

大しふ萩の葉すこし風のとも
わすれてつゆしむらしこゆ
源氏ゆめ

小沼山みゆきにあらしに
きえぬとてうすやうすくもむ
[illegible]

四章　きり　をを尾山
ゆき　ゆきけり

[illegible]
蘭　[illegible]
以巻[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

思ひかねたるいしるしなるやうきうの
いとりのれの多しみくねく
やうそうそうそうしの氏源のうとの梅そいとする

中納言いしのさやうのことくいふもわうふへうふかし
[illegible]
いとやうしなるを

十八　梅枝

此巻梅ノ枝ニ付テ二月廿日の御賀ノ御事ハ
六条ノ院ニテ[illegible]
[illegible]
と四方〳〵ムカテ行ヒ給ふ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

白きつかのもとに花のいまさかりなるを
みるにつけてもむかしをおもひいでて
そのかの
死のうはぶねのかぜふとをきねし
うかりしかの御ふねのうくしかをやも
とありしかのたきものとかいとかうば
かりをいへしちりもてかのねぶのひかりいとかう
のつかをとかへしかをそをかのかるる花かつらま
いとかなきかをもしありて侍るふいとをきかをし
やとなかめかをすしはかりをそ侍つるもあつて
をかるへうをんかをの出らるふあるを在原つる

いとけうかるをあるうをさをに何をもかをかを中をかをを
のさをかんかをかをうをさいへとをかをつををうをを
かをいかをうをを侍侍をあをををををををををををを
なをうをきをうをかををををををををををををををを
をうをかをいをををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををを

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十九　藤のうへの御歌

[illegible]井のうへにひめさみとの
[illegible]和のむすめ[illegible]年
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

二十　若菜上

[illegible]

わかなをも[illegible]

[illegible]

[illegible]

小松原すゑのまつ[illegible]

[illegible]

[illegible]

のうたをまきんとてみちゝゝ義とも書て入道
の分ふ

むかいてん晩ちゝ成よりは

いとゝとう[illegible]義とうとまさか

と義物ゝうの文ゝきゝ（きもを）信ふもこの分ハ
義ゝうあゝれいゝやうをいの事ゝ（ゝ）そゝう女ニ
のゝゝゝ[illegible]ゝ朱雀院の[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
行ゝゝの[illegible]ゝ院のゝ[illegible]ゝ[illegible]
六条院ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ六条の院
れゝゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

いゝゝゝ源氏ゝゝゝ[illegible]ゝ[illegible]
のゝゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝゝゝ大臣の[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

若菜下

ゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

てりそめたる紅葉の山ちるものかとみるまでにうつくしきを
やうふうのてらまさりたる堂塔の中にあるをみるにはゆゑあるやうに
おぼえしかばいかなるこころぞとたづねんとするに法師
すれどもあるべきかたもなきに侍るとのみ申
ばかりなれどもかくまでもてなしたるにはいかなるゆゑ
なるにかあらんとおぼしてまつらるるに人の
こゑのうちいうけうあるをんなの
のりてあるをんなとおぼしきまでにて
ちかくよりてゐたるをみるに
ちりくるもみぢをとりあつめてもてあそぶ
らさまにて
かのをんなのいはくのちなりとぞ
おぼしてまつまくいとと
ゐるに院入せたまひしかばとりあつめたるもみぢの中にとりかくしてのがれ
ぬるをいかがとおぼしてとりあつめたるもみぢのうちにかくしてのがれ
ぬるをみるにそのをんなのしるしあるものなれば
といふまでとなくそれよりのちにんにはかりあ
はせるのちにはあひしのちにさしてと
いふこともあるまじきなりさてわるるまで安樂院
こゑをあこのこゑいまさらにあるべきにあらず
なり第薬院のあまはいかなるものにか
まつるべきぞあこのこゑはたゞ
なりにあらずまたこのこゑはたゞ
なりにあらずとぞきんとすれば

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]